みずほ銀行 国際為替部

みずほCustomer Desk Report 2025/10/14 号(As of 2025/10/13)

10/ 9 16 Oustoiner Desk Neport 2020/ 10/ 14 9 (A3 01 2020/ 10/ 10/						
【昨日の市況概要]			公示仲值	-	
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	
TKY 9:00AM	152.08	1.1602	176.44	1.3337	0.6498	
SYD-NY High	152.46	1.1629	176.89	1.3365	0.6532	
SYD-NY Low	151.40	1.1558	175.91	1.3314	0.6488	
NY 5:00 PM	O PM 152.28 1.1570 176.23		176.23	1.3336	0.6516	
	終値	(前日比)		終値	(前日比)	
NY DOW	46,067.58	587.98	日本2年債	-	-	
NASDAQ	22,694.61	490.18	日本10年債	-	-	
S&P	6,654.72	102.21	米国2年債	-	-	
日経平均	-	1	米国5年債	-	-	
TOPIX	-	-	米国10年債	-	-	
シカゴ日経先物	47,125.00	1,035.00	独10年債	2.6300%	▲0.0034%	
ロントンFT	9,442.87	15.40	英10年債	4.6550%	▲0.0150%	
DAX	24,387.93	146.47	豪10年債	4.3040%	▲0.0670%	
ハンセン指数	25,889.48	▲ 400.84	USDJPY 1M Vol	10.23%	▲0.07%	
上海総合	3,889.50	▲ 7.53	USDJPY 3M Vol	9.73%	▲0.13%	
NY金	4,133.00	132.60	USDJPY 6M Vol	9.72%	▲0.12%	
WTI	59.49	0.59	USDJPY 1M 25RR		Yen Call Over	
CRB指数	295.54	2.78	EURJPY 3M Vol	8.36%	▲ 0.15%	
ドルインデックス	99.27	0.29	EURJPY 6M Vol	8.53%	▲0.21%	

由	アジア時間のドル円は日本と米国の休日で151円台後半で小動き。週末にトランプ大統領が中国への態度を軟化させ、ドル円
不	1///時間の「ル口は日本6本国の外口で101円百後十で小割る。 週末に7// 入杭限が中国への忠反を釈化させ、「ルロ
-	
尽	は小幅に上昇。151.82レベルで海外へ渡った。

|ロンドン市場のドル円は、151.82レベルでオープン。ドル円休日の中、週末に出た米中関税交渉を巡るヘッドラインを経て先週金曜 日のポジションがアンワインド、若干のリスクオンとなり、結局152.13レベルでNYに渡った。

3

ク

【昨日の指標等】

Date	Time	Event		結果	予想
10月13日	11:56 中	貿易収支	9月	\$90.45b	\$98.05b

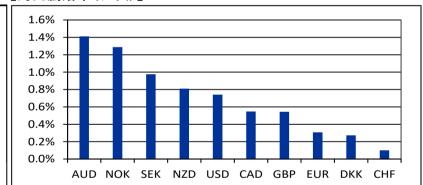
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
10月14日	18:00	独	ZEW景気期待指数/調査現状指数	10月	41.1/-74.2	37.3/-76.4
	18:00	欧	ZEW景気期待指数	10月	_	26.1
	01:20	米	パウエルFRB議長 講演	-	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】





【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.80-152.70	1.1550-1.1650	175.80-177.00

<u>【マーケット・インプレッション】</u>

先週金曜日にトランプ大統領が自身のSNSに11月1日から中国の輸入品に対する関税を100%上乗せすると 投稿。市場は急激にリスクオフに傾きドル円は151円台前半まで急落。その後12日に「中国については心配い らない」などと投稿し、米中の貿易問題への懸念が後退すると152円台を回復する動きとなっている。その後の ベッセント財務長官からも中国との対話が進んでいることが公表されており、短期的には本件を材料にしたリ スクオフの動きは落ち着いていこう。先週末は公明党の政権離脱も円買い材料となった。引き続き本邦政局に 絡んだ報道には警戒だが、不確定要素も多くドル円のポジションを傾けるほどの動きは取りにくいとみる。週 末から昨日までの米中関税問題を受けた動きを朝方に消化した後は152円付近をレンジとした動きに落ち着 いていこう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お 客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。